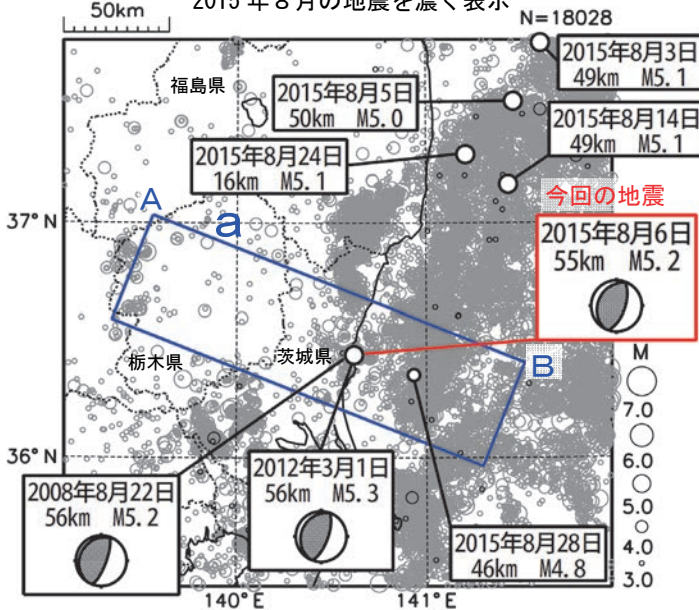


# 8月6日 茨城県沖の地震

情報発表に用いた震央地名は「茨城県北部」である。

震央分布図

(1997年10月1日～2015年8月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$ )  
2015年8月の地震を濃く表示

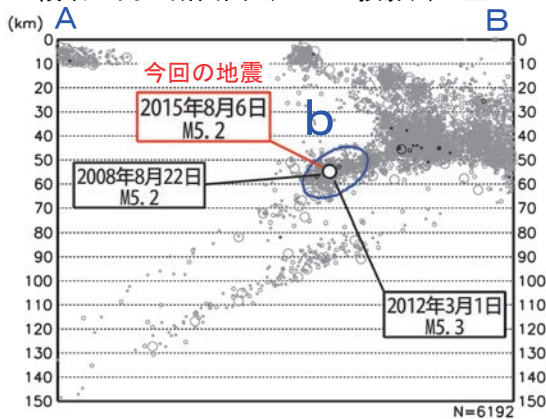


2015年8月6日18時22分に茨城県沖の深さ55kmでM5.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

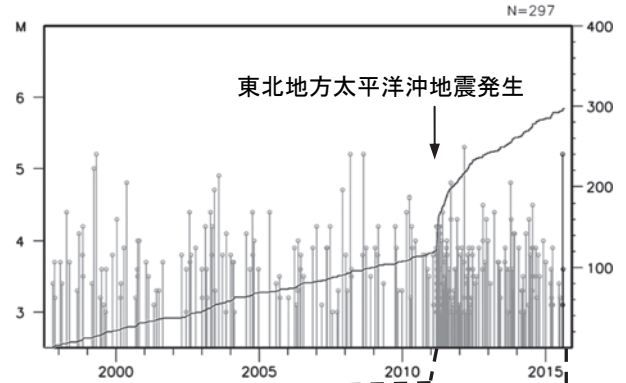
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M5程度の地震が時々発生している。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日にはM5.3の地震(最大震度5弱)が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域c)では、M5.0以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生したM6.5の地震(最大震度5)では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

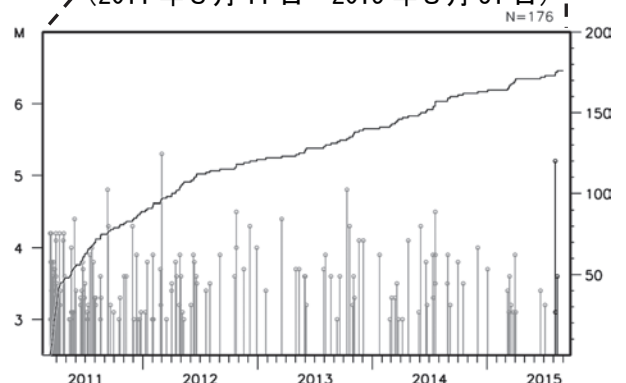
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)、 $M \geq 2.5$



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図、 $M \geq 3.0$

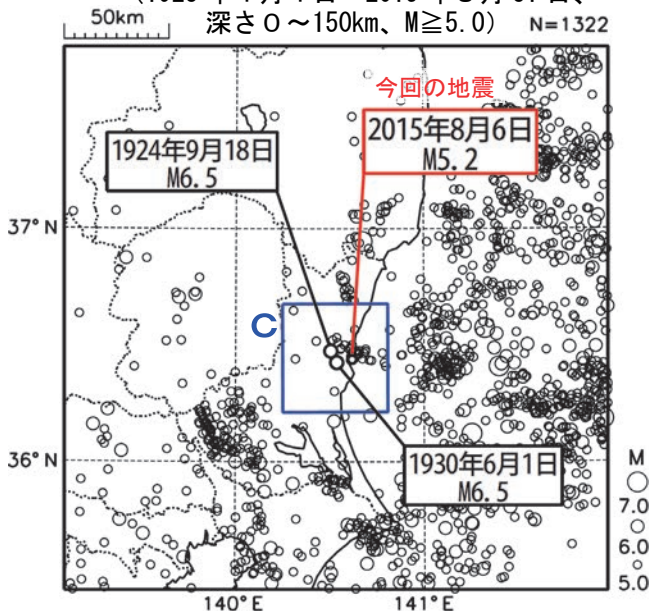


(2011年3月11日～2015年8月31日)



震央分布図

(1923年1月1日～2015年8月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$ )



領域 c 内の M-T 図

